

見附市立病院薬剤科 調剤内規

「調剤全般における心得」

薬はやさしく取り扱きましょう！

調剤を始める前には手洗いを！

平成 25 年 10 月 1 日改訂

調剤全般

1. 散剤

- ① 同一処方箋中に、色調が類似し、識別が困難であると考えられる薬がある場合、処方番号の小さい方から「線なし」→「緑線」→「青線」→「黒線」を引き区別する。尚、3色で足りない場合は、線を2本線→3本線としていく。
- ② 強心剤の「ジゴシン散」「ラニラピット（粉砕）」は「赤線」を引き、1-①に含めない。
- ③ 分包品がある場合、混合指示がなければ分包品を優先的に使用する。
- ④ 分包は最低「0.3g/包」とし、賦形剤は乳糖を用いる。
- ⑤ 散剤と水剤は混合調剤しない。
- ⑥ 次のものは配合不可とする。

(1)	ハイシー顆粒 パンビタン末 アスピリン	と	酸化マグネシウム SM 散
(2)	ハイシー顆粒	と	アスピリン
- ⑦ 小児、及び血中濃度測定を有する薬剤（ジゴシン、アレビアチン、フェノバル、ワーファリン、デパケン）の調剤時には、「散剤調剤監査システム」を利用する。計量データはプリントアウトして監査に渡し、監査後、処方箋に用紙を貼付する。
- ⑧ 小児において分包時には、分包紙に氏名を印字する。

2. 液剤

- ① 内服水剤は「2m l /回」以上の「整数量/回」とし、賦形剤は蒸留水を用いる。投薬に際し、計量カップをつける。
- ② 混合水剤の保存は原則「水剤配合表」（*1）に従う。ただし「単独調剤の水剤」（*2）は混合しない。
- ③ 吸入剤は「1m l /回」以上の「整数量/回」とし、賦形剤は生理食塩液を用いる。投薬に際し、スポイトをつける。
- ④ 混合吸入剤の保存は原則7日間（冷所）とする。

(*1)「水剤配合表」

(○:14日間室温で安定)

商品名	ムコダインシロップ	メプチンシロップ	ポララミンシロップ	フスコデ配合シロップ
セレスタミン配合シロップ	△(7日間室温)	○	○(成分重複)	○
フスコデ配合シロップ	○	○	○	
ポララミンシロップ	○	○		
メプチンシロップ	△(7日間室温)			

(*2)「単独調剤の水剤」

- ・インクレミンシロップ
- ・ガスコンドロップ
- ・トリクロリールシロップ
- ・ラクツロースシロップ

3.錠剤・カプセル剤

- ① 75歳以上の患者にPTPシートで調剤する場合、出来るだけPTPシートが2錠以上連なっている状態でわたす。
- ② 錠剤を半錠分包し、薬の識別が困難であると考えられる場合、処方番号の小さい方から「線なし」→「緑線」→「青線」→「黒線」を引き区別する。尚、3色で足りない場合は、線を2本線→3本線としていく。
- ③ 強心剤の「ジゴシン錠」「ラニラピット錠」の半錠分包は「赤線」を引き、3-②に含めない。
- ④ 分割可能な錠剤において、0.5錠や1.5錠等の処方の場合のみ分割調剤するが、それ以外（0.6錠等）の場合は粉碎し、散剤として調剤する。
- ⑤ ワーファリン錠においては、分割不可とし、用量調整は顆粒処方を依頼する。
- ⑥ 粉碎指示の場合、カプセル剤は原則粉碎せずに直前脱カプセルして服用する。錠剤は粉碎時の安定性を確認後、粉碎調剤する。

部門別調剤

4.外来調剤

- ① 原則として用法が同じ薬品は同一の薬袋に入れて渡す。
- ② 一包化指示の場合、一包化調剤可能な調剤・カプセル剤は内服時間別により一包化する。散剤や一包化不可の錠剤・カプセル剤は一包化せず、薬袋は内服時間別に入れる。
- ③ 単独薬袋の薬品（アマリール、センノシド等）は4-①.②に含めない。
- ④ 処方監査時に、前回処方との変更点を処方箋の備考欄に記入し、投薬窓口において説明する。
- ⑤ 薬剤情報提供料の指示がある場合、原則として「お薬の説明書」と「お薬手帳用シール」を発行し、投薬窓口で薬と一緒に渡す。「お薬手帳用シール」は出来るだけ薬剤師が貼付し、内容確認も行う。
ただし、「お薬手帳」を希望されない場合には、オーダーリングの薬剤師コメントに登録し、医事科にも伝え、「お薬手帳用シール」は発行しない。
- ⑥ 薬品に変更（シート、外観、名称、味等の変更）があった場合は、変更の薬が初めて使用された日から数えて2ヶ月間、「変更のお知らせ用紙」を薬品につけ、患者様に変更のあることを伝える。
- ⑦ 説明文の添付されている薬品には、説明文をつけて渡す。
- ⑧ 小児科の処方箋監査時には、体重を確認する。

5.入院調剤

- ① 定期処方と臨時処方においては、一包化調剤をする。4-②、③に従う。
- ② 退院処方は、原則として一包化せず、外来調剤に従う。（外来時一包化指示の場合は一包化調剤）
- ③ 定期処方と臨時処方においては、「お薬手帳用シール」を発行する
- ④ ケアプラザ見附の処方箋は、原則として入院調剤方法とするが、「お薬手帳用シール」は発行しない。